

別紙 機器その他の仕様書

第1条 ハードウェア

- (1) 防災訓練 VR 装置は、多くの人が集まるイベント会場、訓練会場等での運用を想定しており訓練実施時の安全性、操作性を十分考慮したものとする。
- (2) バーチャルリアリティー映像の技術を活かしヘッドマウントディスプレイ(以下「VR ゴーグル」という)を用いたものとする。
- (3) 満充電(但し、装置の使用状況、使用頻度、内蔵バッテリーの劣化度合等による)の状態で 3 時間程度の連続使用が可能であるものとする。
- (4) 移動型より高度な防災意識の高揚につながるものを想定しているため、しゃがむ・立つなどの6軸のモーションに対応したVRゴーグルであり、体験者が視聴している映像を外部モニターへ出力が可能なものとする。
- (5) 衛生面を考慮し、VR ゴーグルと顔の接地面は、吸水性の高いスポンジ素材ではなく、簡易的に消毒が可能な作りとする。

第2条 機器構成

- (1) 型式等(付属品・部品を含む)に変更が生じた場合(製造中止を含む)は、同等以上の性能を満たす新型の形式とすることができる。
- (2) 防災訓練 VR 装置の構成は以下のとおりとする。

品名	型式・使用	数量
防災訓練VRソフトウェア(地震体験)	専用品とする・6軸対応コンテンツ	5
防災訓練VRソフトウェア(土砂災害体験)		5
VR ゴーグル	6 軸対応品・コントローラ付属・充電器付属	10
VR 用ノート PC	対応品・充電器付属	10
専用ケース	対応品	10
取扱説明書		10

第3条 ソフトウェア

(1)それぞれのソフトウェアの内容は以下のとおりとする。

(2)地震体験 VR

ア 昼間帯に発生した地震に居宅にて遭遇した状況をフル CG で再現しており、体験の開始から終了時まで随時、状況が変化していく内容とすること。

イ 体験者の姿勢や視線に応じてコンテンツ内での視界の状況が変化し、家具固定やガラスの飛散防止など、地震に対する日頃からの備えの重要性を体感できる内容とすること。

ウ コンテンツの一人あたりの体験時間は1分 30 秒から3分 00 秒の間とすること。

参考製品:株式会社理経 防災訓練用 VR 地震編

(3)土砂災害体験 VR

ア 土砂災害発生前から災害発生に至るまでの気象状況及び住宅付近の状況をフル CG で再現しており、体験の開始から終了時まで随時、状況が変化していく内容とすること。

イ 体験者の姿勢や視線に応じてコンテンツ内での視界の状況が変化し、土砂災害に対する日頃からの備えの重要性を体感できる内容とすること。

ウ コンテンツの一人あたりの体験時間は1分 30 秒から8分 00 秒の間とすること。

参考製品:株式会社理経 防災訓練用 VR 土砂災害編

以 上